

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア香椎教室 保育所等訪問支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日（金）
自己評価総括の担当者	大東

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	27	27
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	8	13
訪問先施設評価	2025年12月19日(金) - 2026年2月12日(木)	13	22

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※） だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所の弱み（※） だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること
保育園での勤務経験を持つスタッフが訪問支援を担当している点が最大の強みである。集団生活の実態を熟知しているため、現場の状況に即した、具体的かつ現実的な支援の手立てを提案できている。また、訪問で得た情報を教室内の支援に即座に反映・還元させることで、支援の一貫性と相乗効果を生み出している。	訪問先の教諭等に対し、相手が求める水準のフィードバックを十分に提供できていない点が課題である。多忙な現場において、訪問自体が先生方の負担感につながっている側面も否定できない。また、訪問1回ごとの介入で目に見える劇的な変化や支援効果を創出することに難しさを感じており、質の向上が求められている。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等	事業所として考えている課題の要因等
保護者に対し、園や学校での詳細な様子を丁寧に共有する家族支援を徹底している。「普段見られない姿を知ることができて嬉しい」との声を多くいただいております。家庭と外の世界をつなぐ役割を意識的に担っている。また、訪問で得た知見を事業所内の個別支援計画に反映させ、環境調整と個別指導の連動性を高めている。	訪問先の先生方のニーズを正確に捉えきれず、専門的な視点と現場での実践的な解決策との間に乖離が生じていることが要因である。また、訪問時間の確保が先生方の業務を圧迫してしまい、十分な協議時間を確保しにくいという物理的な制約も、フィードバックの質が上がらない一因となっている。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
保育園勤務経験者による「現場目線のアセスメント」をさらに強化し、より即効性のある環境調整の提案を充実させる。保護者との連携においても、園での頑張りやポジティブに伝えるだけでなく、家庭で取り組める具体的なアプローチへの還元を加速させ、三者の連携による支援の質をより一層高めていく方針である。	先生方の負担を軽減するため、報告書の簡略化やICTの活用など、短時間で要点を伝えるフィードバック体制を構築する。1回の訪問における「目標設定」をより明確にし、現場の教諭が「これなら明日からできる」と感じる具体的かつ最小限の助言に絞るなど、質と効率を両立させる工夫が必要である。